

2023年10月25日

～ 日清製粉鶴見工場の使用電力の100%を実質再生可能エネルギー化 ～  
「オフサイトコーポレートPPA」の活用による  
再生可能エネルギー電力の導入について

日清製粉グループの日清製粉株式会社（取締役社長：山田 貴夫）と丸紅株式会社の連結子会社である丸紅新電力株式会社（代表取締役：須田 彰）は、日清製粉鶴見工場電力の100%実質再生可能エネルギー化を両社が協力して実現するため、「オフサイトコーポレートPPA」（※1）の契約を締結しました。

この契約に基づき、本年11月より日清製粉鶴見工場に対して、丸紅新電力が太陽光発電設備（8MWクラス（※2））による再生可能エネルギー電力の供給を開始するとともに、トラッキング付非化石証書を付与することで、製粉工場として日本最大規模を誇る鶴見工場（日本で消費される小麦粉の約10分の1を生産）の使用電力のすべてが実質再生可能エネルギーとなり、年間約27,000トン強のCO<sub>2</sub>削減につながります。

日清製粉グループは2021年に「環境課題中長期目標」を策定し、2030年度にグループの自社拠点でのCO<sub>2</sub>排出量50%削減（2013年度比）、2050年に排出量実質ゼロを目指しています。この目標の達成のために、今回の取組みをはじめとする再生可能エネルギーの調達を積極的に進めていきます。

また中期経営戦略GC2024に則し、「グリーンのトップランナー」を目指している丸紅は、本件を通じて脱炭素社会の実現・持続可能な社会の実現に貢献していきます。同様に丸紅新電力も再生可能エネルギーの取扱高を2030年、500万kW程度を目標として段階的に増やしながらか、再生可能エネルギーを広くお客様へ供給していきます。

（※1）オフサイトコーポレートPPA

コーポレートPPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）は、企業が再生可能エネルギーを発電事業者から長期にわたって固定価格で購入する契約です。企業がCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献できるエネルギー調達手法として注目されています。今般、遠隔地の発電施設から一般の送配電網を介して電力を調達するスキームとしており、これを「オフサイトコーポレートPPA」と呼びます。

（※2）8MWクラスは最終予定出力、本年11月より段階的に導入。

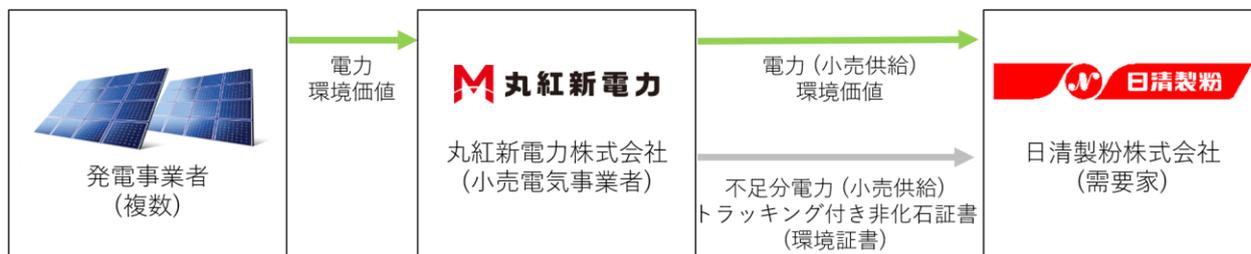
以上

この件に関する報道関係者のお問い合わせ先

株式会社日清製粉グループ本社 総務本部広報部 担当：山口・城地  
電話：03-5282-6650（お問い合わせフォームは[こちら](#)）

丸紅新電力株式会社 担当：清水・上田・大川  
電話：03-3282-2350

## <オフサイトコーポレートPPA スキーム図>



**M 丸紅新電力** © Marubeni Power Retail Corporation. All rights reserved.

## <開発中のオフサイト太陽光発電施設>



※本発電所設備は全体(8MW/AC)の一部となります。